



浪漫を感じさせる赤い屋根瓦が青空に染まず映える文化のみち二葉館(名古屋旧川上貞奴邸)は、平成17年2月8日に文化のみち(名古屋城・徳川園、東西約3km)の拠点施設としてオープンしました。館内では、文化のみちの様々な情報を提供するとともに貞奴・桃介の資料、郷土ゆかりの文学資料などを展示公開して、今年も開館11周年を迎えます。大変多くの方にご来館いただき、昨年の11月には開館からの入館者42万人を数えることができました。お陰さまで日本国内はもとより、海外からの来館も増えてきました。こうした国内外の皆さまを通して、文化のみち二葉館を広く知っていただけるように、これからも新たな一日を積み重ねていきたいと思えます。

さて、文化のみち二葉館では平成17年の開館日2月8日が施設愛称の「二葉」と語呂が合うことから「ふたばの日」としてあります。この開館記念日は入館料無料の日です。そして文化のみち二葉館のメインイベントの日としても、毎年様々な催しを

今年「ふたばの日」は月曜日ですが開館いたしますので、皆様お誘いあわせの上、ぜひ文化のみち二葉館へお越しください。 ※各催事の詳細は裏面をご覧ください。

ご用意して皆様をお待ちしております。 はじめに入館者プレゼントとして先着100名様に記念品を進呈、文化のみち榎木館でも先着100名様に甘酒がふるまわれます。 1階大広間においては、名古屋大須が発祥といわれる大正琴の演奏と、南米のハーブ「アルパ」のコンサート、展示室1では貞奴の手書きの羽織と雛人形、2階和室では、毎年時事ネタや流行を盛り込んで展開されるユニークで楽しい「福よせ雛」をご覧いただけます。 また、2階展示室5では文学の企画展示「流星の文学者―近代名古屋を通過した7人の作家―」を開催します。明治から昭和初期の一時期を名古屋で暮らした作家たちの、作品にみる名古屋との接点やエピソードをご紹介します。

「ふたばの日」
2/8(月)
文化のみち二葉館
文化のみち榎木館
両館入館料無料



今年も月曜日!

●入館者プレゼント 10:00～(1階受付)
来館先着100名様に11周年の記念品を進呈します。(なくなり次第終了)
榎木館でも先着100名様に甘酒がふるまわれます。

澄音会・『大正琴』の薫り
■11:00～12:00(1階大広間)
■出演:大正琴澄音会
名古屋生まれの大正琴で華やかな邦楽や流行歌、世界の音楽を奏でます。



南米のハーブ「アルパ」の薫り
■13:30～14:30(1階大広間)
■出演:かとうともこ & アルパユニット
南米のハーブ「アルパ」が奏でる美しい音色をお楽しみください。



『川上貞奴の手書き雛の羽織と雛人形』
貞奴直筆のお雛様を描いた羽織と、貞奴が大切にしていた雛人形を展示します。
●雛人形 2月8日(月)～2月21日(日)
会場:1階展示室1
協力:成田山貞照寺

●羽織
2月8日(月)～3月8日(火)
会場:1階展示室1
※2月23日(火)から展示室2



「福よせ雛」
福よせ雛発祥の地、二葉館のお雛様をお楽しみください。
■2月8日(月)～2月14日(日)
(最終日は15:00まで)
■会場:2階和室1、2
出品:(社)日本社会文化教育機構
協力:福よせ雛プロジェクト

伝統芸能「正調名古屋甚句・端唄」無料体験講習会と日本伝統楽器「三味線」初心者無料講習会

■3月19日(土) 13:00～13:45 「正調名古屋甚句・端唄」講習会
14:00～14:45 「三味線」初心者講習会
■講師:甚富華、華房小真
■会場:1階集会室
■定員:各15名
※申し込み方法・受付日:
3月11日(金) 10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み
甚富華 華房小真



トニエエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで入館料割引一般200円→160円



2016 EVENT SCHEDULE

各イベントのお申し込み・お問い合わせは文化のみち二葉館 TEL/FAX 052-936-3836
※月曜休館・イベントの予定は変更になる場合があります。

『額入り姫きもの』制作無料講習会

着物生地柄を最大限に活かした「額入り姫きもの」です。糸・針を使わないので、どなたでも1時間で出来上がります。
■2月9日(火)、10日(水)、12日(金)
■会場:1階集会室
■時間(各日):
第1回11:00～12:00
第2回13:30～14:30
■定員:各回10名 材料費1,000円
※申し込み方法・受付日:1月26日(火) 10:00～12:00 文化のみち二葉館へ電話申し込み
協力:古裂美術工房



『文化のみち雛巡りスタンプラリー』

文化のみちの施設(7施設)を巡ってスタンプを集めると、台紙の雛飾りが完成します。
■2月5日(金)～3月6日(日)

『流星の文学者―近代名古屋を通過した7人の作家―』

明治から昭和初期にかけての一時期に名古屋に居を置いた7人の文学者に焦点をあててご紹介します。
■2月8日(月)～3月8日(火)
■会場:2階展示室
●トークイベント
『近代文学における“名古屋”を語る』
対談:山下達治(あいち文学フォーラム)、三田村博史(中部ベンクラブ会長)
■2月28日(日) 13:30～15:00
■会場:1階大広間 ※当日先着順自由席

